

## 四国ブロック会議、愛媛県リハビリテーション講習会

広報・啓発活動（パンフレット・機関誌・ウェブサイト・冊子・DVD等の発行や配布など）  
ホームページへの記載制作中

調査・情報収集活動（実態調査・地域支援機関マップの作成など）  
特になし

診断評価・リハビリテーションなど  
県内の診断評価統一に向けて準備中（評価ワーキンググループとの連携のもと）

その他の支援活動  
特になし

### 【香川県】

支援拠点機関名  
社会福祉法人 かがわ総合リハビリテーション事業団

支援コーディネーター（職種）  
森川麻理（相談支援専門員）

当事者／家族からの直接相談のべ件数（22年1月末まで）

電話	118件
来院／来所	59件
メール・書簡	6件
その他（訪問・出張・同行等）	12件

機関・施設等からの間接相談のべ件数（22年1月末まで）

電話	183件
来院／来所	5件
メール・書簡	9件
その他（訪問・出張・同行等）	4件

主催した会合・対象者・参加人数（研修会・講習会・連絡調整会議・協議会・委員会・勉強会・交流会相談会・ケース会議など）

#### ①研修会・講演会

- (1) 高次脳機能障害支援関係職員研修会「中讃地区研修会」21.8.7 参加者 29名
- (2) " " 「東讃地区研修会」21.9.27 参加者 9名
- (3) " " 「西讃地区研修会」21.10.7 参加者 18名

対象：行政（县市町）窓口担当者、相談支援事業所、特別支援教育コーディネーター、地域包括支援センター等

- (4) 高次脳機能障害講演会「子どもの高次脳機能障害」～その理解と対応～  
講師 栗原まな先生 22.2.6 対象：一般すべて 参加者 82名

#### ②協議会

- (1) 平成21年度香川県高次脳機能障害支援連絡協議会 22.1.25 参加委員11名、事務局3名

#### ③連絡会

- (1) 第1回香川大学病院高次脳機能障害外来との連絡会 21.6.29 参加者14名
- (2) 第2回香川大学病院高次脳機能障害外来との連絡会 21.12.7 参加者12名
- (3) 第3回香川大学病院高次脳機能障害外来との連絡会 22.3 予定

主催はしていないが、協力・出席した会合（研修会・講習会・連絡調整会議・協議会・委員会・勉強会・交流会相談会・ケース会議など）

①研修会・講習会

- (1) 日本損害保険協会助成事業「香川脳外傷リハビリテーション講習会」協力
- (2) 第3回高次脳機能障害相談支援コーディネーター情報交換会出席(広島)
- (3) 日本脳外傷友の会第9回全国大会出席(広島)
- (4) 平成21年度高次脳機能障害支援普及事業第1回支援コーディネーター全国会議出席
- (5) 平成21年度高次脳機能障害支援普及事業第2回支援コーディネーター全国会議出席予定

②当事者・家族会

かがわ脳外傷友の会 ぼちぼちの定例会等(月1回)

③相談会

多度津町主催健康フェスティバル 高次脳機能障害相談会協力

④勉強会

- (1) 香川県医療社会事業協会定例会研修講師
- (2) 香川県精神保健福祉士会定例会研修講師
- (3) 香川障害者職業センター研修講師
- (4) 香川県リハビリテーション特別研修会講師

広報・啓発活動(パンフレット・機関誌・ウェブサイト・冊子・DVD等の発行や配布など)  
今年度新たなパンフレットを作成中(3月末完成予定)

調査・情報収集活動(実態調査・地域支援機関マップの作成など)  
特になし

診断評価・リハビリテーションなど

- ・診断、評価については、協力医療機関である香川大学医学部附属病院高次脳機能障害外来に依頼し、実施している。
- ・リハビリテーションについては、当センター内リハビリ病院の外来リハビリを紹介したり、自宅から最寄りのリハビリ病院を紹介したりしている。

その他の支援活動  
特になし

【高知県】

支援拠点機関名

高知ハビリテリングセンター

支援コーディネーター(職種)

上田真弓(センター長)  
片岡裕美(生活支援員)  
高橋七瀬(生活支援員)  
半田明日翔(生活支援員)  
土居安子(生活支援)

当事者/家族からの直接相談のべ件数(21年度の集計可能な月まで)

電話	36件
来院/来所	6件
メール・書簡	0件
その他(訪問・出張・同行等)	1件

機関・施設等からの間接相談のべ件数(21年度の集計可能な月まで)

電話	24件
来院/来所	0件
メール・書簡	0件

その他（訪問・出張・同行等） 2件

主催した会合・対象者・参加人数（研修会・講習会・連絡調整会議・協議会・委員会・勉強会・交流会相談会・ケース会議など）

平成21年8月6日：第1回高次脳機能障害支援委員会（支援委員・オブザーバー・支援センター）

平成21年9月11日：三者会議（支援委員長・オブザーバー・支援センター）

平成21年10月9日：身体障害者療護施設みどりの家 高次脳勉強会（職員30数名程）

平成21年12月7日：第2回高次脳機能障害支援委員会（支援委員・オブザーバー・支援センター）

平成22年2月13日：専門職向け講演会（保健師・ケアマネ等の専門職 35名）

（予定）

平成22年3月25日：第3回高次脳機能障害支援委員会（支援委員・オブザーバー・支援センター）

主催はしていないが、協力・出席した会合（研修会・講習会・連絡調整会議・協議会・委員会・勉強会・交流会相談会・ケース会議など）

平成21年5月16日：青い空定例会

平成21年7月1-3日：高次脳機能障害支援事業関係職員研修会

平成21年7月：青い空定例会

平成21年8月：青い空定例会

平成21年9月：青い空定例会

平成21年10月3日：全国高次脳機能障害支援コーディネーター情報交換会

4日：脳外傷友の会第9回全国大会 in 広島

16日：平成21年度第1回支援コーディネーター全国会議

平成21年11月7日：脳外傷リハビリテーション講習会・共催

8日：徳島高次脳機能障害リハビリテーション講習会

19・20日：障害者リハビリテーション研究集会

広報・啓発活動（パンフレット・機関誌・ウェブサイト・冊子・DVD等の発行や配布など）

平成21年5月28-30日：高次脳機能障害相談支援センターのお知らせチラシ発送

平成22年2月13日：リーフレット完成（勉強会にて配布）

調査・情報収集活動（実態調査・地域支援機関マップの作成など）

平成21年12月7日：第2回高次脳機能障害支援委員会にて高知県版社会資源マップの作成検討

診断評価・リハビリテーションなど

相談支援センターとしては行っていない

その他の支援活動

特になし

## 【徳島県】

支援拠点機関名

徳島大学病院 高次脳機能障害支援センター

支援コーディネーター（職種）

中村 和己（言語聴覚士）

当事者／家族からの直接相談のべ件数（21年度の集計可能な月まで）

電話 7 件

来院／来所 1 件

メール・書簡 0 件

その他（訪問・出張・同行等） 3 件

機関・施設等からの間接相談のべ件数（21年度の集計可能な月まで）

電話	3 件
来院／来所	34 件
メール・書簡	0 件
その他（訪問・出張・同行等）	0 件

主催した会合・対象者・参加人数（研修会・講習会・連絡調整会議・協議会・委員会・勉強会・交流会相談会・ケース会議など）

H22.1.24 徳島高次脳機能障害支援講演会、当事者・家族・一般市民・支援者、

主催はしていないが、協力・出席した会合（研修会・講習会・連絡調整会議・協議会・委員会・勉強会・交流会相談会・ケース会議など）

H21.7.25 四国労働金庫社会貢献活動助成制度による講演会、当事者・家族・一般市民・支援者、120

H21.11.8 （社）日本損害保険協会徳島リハ講習会、当事者・家族・一般市民・支援者、170

広報・啓発活動（パンフレット・機関誌・ウェブサイト・冊子・DVD等の発行や配布など）

無し

調査・情報収集活動（実態調査・地域支援機関マップの作成など）

無し

診断評価・リハビリテーションなど

随時実施

その他の支援活動

外来にて継続中 21名

厚生労働科学研究費補助金（こころの研究科学研究事業）  
分担研究報告書

高次脳機能障害に対する地域支援ネットワークに関する研究

研究分担者 丸石正治 広島県立リハセンター高次脳機能センター長

1. 研究要旨

中国ブロックは、各県とも拠点施設が決定した。各県の状況は、拠点機能を充実させることに主眼を置いている県と、さらに県内ネットワークの充実を目指している県まで、進捗状況はさまざまである。共通した課題として、医療から福祉への連携、特に地域生活での社会資源の活用など、地域で検討すべき問題が掲げられている。ブロック統括として、自立支援協議会との連携を推進するよう、助言させていただいた。

A. 研究目的

中国ブロックにおいては、既に広島県と岡山県が「高次脳機能障害支援モデル事業」に参画していた。平成18年度より「高次脳機能障害支援普及事業」に移行するに伴い、中国地域のモデル事業不参加県（島根、鳥取、山口県）における高次脳機能障害の普及を支援してきた。具体的には、各県の拠点施設の指定、相談支援の普及、支援技術の向上、について、モデル事業参加権が中心となって活動した。

21年度は、さらに各県の活動の均一化を計るとともに、新たに生じた課題を整理し、全国協議会の場で調整することを目的とした。

B. 研究方法

①中国ブロック高次脳機能障害連絡協議会を設け、各県支援拠点施設の高次脳機能障害支援コーディネーターと、各県家族会代表者による委員会を構成した。各県行政担当者がオブザーバーとして参加した。

②ブロック研修会を年度ごとに各県持ち回りで実施した。

（倫理面への配慮）

本研究で用いられたデータは個人が特定できないようにされたデータのみを使用した。個人情報の公開については、当人およびご家族の同意を得るよう、書面によるインフォームドコンセントを徹底した。

C. 研究結果

1. 中国ブロック会議の体制

厚生労働省「高次脳機能障害支援ネットワーク」研究班の趣旨に則り、各県の支援コーディネーター、家族会代表、医療関係者から委員を構成し、協議会を組織した。各県行政担当者はオブザーバー参加とした。会議委員長はブロック統括である丸石正治が、副委員長は岡山県の種村純教授が務めた。

（委員長）

広島県立リハセンター高次脳機能センター長 丸石正治

（副委員長）

川崎医療福祉大学教授 種村 純

（岡山県委員）医師1名、コーディネーター1名、家族会1名

（島根県委員）医師1名、コーディネーター2名、家族会1名

（鳥取県委員）医師1名、コーディネーター1名、家族会1名

（広島県委員）医師1名、コーディネーター1名、作業療法士1名、家族会1名

（山口県委員）

コーディネーター2名、家族会1名（オブザーバー）

行政担当者5名、コーディネーター2名

2. 中国ブロック全体での活動

（1）中国ブロック連携協議会の開催（平成22年3月13日、山口市）

（2）中国ブロック研修会の開催（平成22年3月13～14日、山口市、開催担当：山口県）

【中国ブロック研修会プログラム】

1. 高次脳機能障害支援普及事業～国・県の取組状況～

<p>国の取組について 厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課課長補佐 高城亮          山口県の取組について 山口県障害者支援課</p> <p>2. パネルディスカッション：家族とつながる. 各県の家族教室・家族支援の取組み          コーディネーター：産業医科大学甲斐明子          パネリスト：各県の高次脳機能障害支援コーディネーター                            岡山県川崎医科大学附属病院 八木真美                            広島県高次脳機能センター 隅原聖子                            島根県立心と体の相談センター 土江啓悦                            鳥取大学医学部附属病院 川上由加里                            山口県身体障害者福祉センター 石原弥生</p> <p>3. 各県の事業報告：地域とつながる          座長：厚生労働省社会・援護局社会保健福祉部企画課課長補佐高城亮                「広島県のネットワーク」広島県高次脳機能センター長 丸石正治                「急性期病院における院内での連携」            鳥取県鳥取大学医学部附属病院脳神経外科教授 渡辺高志                「未来とつながる」 岡山県ひらた旭川荘 後藤祐之</p> <p>4. 精神科医療との連携          座長：厚生労働省社会・援護局社会保健福祉部企画課課長補佐高城亮                「高次脳機能障害専門外来の役割」山口県山口県立こころの医療センター院長 兼行浩史                「精神科が関わる意義」島根県エスポアール出雲クリニック院長 高橋幸男</p> <p>5. シンポジウム：働きたい！！を支える. 「絶え間なくつながる～ひとりの事例をとおして～」          コーディネーター：山口雇用開発協会課長 岡村慎二郎          シンポジスト                            ハローワーク山口助政重海（専門援助部門統括職業指導官）                            山口障害者職業センター荒木邦明（主任障害者職業カウンセラー）                            吉村真（配置型職場適応援助者〔ジョブコーチ〕）                            エールセンター上山福子（相談支援事業所相談員）                            フィオーレ三藤賢次（就労継続B型・就労移行支援事業所施設長）                            就業・生活支援センターデパール桑原健介（就業・生活支援センター主任）                            西日本三桜株式会社山口工場（調整中）                            山口県身体障害者福祉センター 近藤光恵（支援拠点機関）</p>
--

### 3. 平成 21 年度中国ブロック各県の状況

岡山県	
支援拠点機関(電話番号)	川崎医科大学附属病院 電話：086-462-1111 旭川荘 電話：086-245-7361
支援 Cd (職種)	2 名 (言語聴覚士、相談支援専門員)
相談者数 (12 月末)	川崎医大 障害者・家族相談 154 件 機関相談 141 件 旭川荘 障害者・家族相談 104 件 機関相談等 293 件
その他の活動実績	1 川崎医大病院 ・高次脳外来 ・当事者 GW ・家族支援 GW ・県北の社会資源、作業所支援 2 旭川荘

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日中活動支援（地活Ⅰ型）</li> <li>・在宅者の福祉サービス</li> <li>・就労支援</li> <li>3 ワーキング（WG）グループ活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療 WG      ・地域連携 WG</li> <li>・福祉 WG      ・失語 WG</li> <li>・小児 WG</li> </ul> </li> <li>4 調査研究活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・厚生労働科研：失語症</li> </ul> </li> <li>5 普及啓発活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会の開催    ・講師派遣</li> <li>・他県からの視察・研修受け入れ</li> <li>・パンフ、DVD 配布</li> </ul> </li> </ul>
特徴および課題など	<p>&lt;特徴&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 認知リハビリテーションの実施。</li> <li>2 医療から社会的支援への移行体制。</li> <li>3 失語症者、小児への支援を検討中。</li> </ol> <p>&lt;課題&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 社会的行動障害への対応。</li> <li>2 いわゆる「回転ドア現象」が生じつつあること。</li> </ol>

島根県	
支援拠点機関（電話番号）	島根県立心と体の相談センター 電話番号 0852-21-2885
支援 Cd（職種）	全県担当1名（心理技術者） 圏域担当8名（相談支援専門員）
相談者数（12月末）	当事者/家族からの直接相談延べ件数 電話 1,235 件、来院/来所, 969 件、メール・書簡 325 件、その他（訪問、出張、同行等）96 件 機関、施設等からの間接相談延べ件数 電話 650 件、来院/来所 156 件、メール・書簡 160 件、その他（訪問、出張、同行等）97 件
その他の活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 圏域相談支援拠点（7箇所：全圏域）</li> <li>・ 障害者自立支援協議会高次脳機能障害者支援部会の開催</li> <li>・ 高次脳機能障害制度利用の手引き配布</li> <li>・ 当事者家族交流事業へ補助金</li> <li>・ 当事者、家族の実態についてアンケート調査実施（回答数 85）</li> </ul>
特徴および課題など	<p>〔特徴〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高次脳機能障害者への支援は圏域相談支援拠点を中心に実施</li> <li>・ 保健所と協力し、圏域単位での支援ネットワークを構築</li> </ul> <p>〔課題〕</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 拠点施設、ネットワーク整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中核的医療機関、リハ施設の充実</li> <li>・ 圏域相談支援拠点におけるアセスメントの充実・専門性の確保</li> </ul> </li> <li>② 人材育成・普及啓発 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人材育成のための研修体系の構築</li> <li>・ 地域住民の障害に対する理解の向上</li> </ul> </li> <li>③ 医療と福祉の連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 圏域相談支援拠点と医療機関との連携の充実</li> </ul> </li> </ol>

鳥取県	
支援拠点機関（電	鳥取大学医学部附属病院（脳神経外科高次脳機能外来） 電話：0859-38-

話番号)	6 7 6 7
支援 Cd (職種)	1 名 (社会福祉士)
相談者数 (12 月末)	支援拠点 相談対応延べ件数 7 6 8 件 (平成 21 年度 12 月末) (当事者・家族 523、医療機関・行政等 245) 家族会 相談対応延べ件数 (補助金) 1 2 4 7 件 (平成 20 年度) 1 0 2 7 件 (平成 21 年度 9 月末)
その他の活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高次脳機能障害支援連携強化事業 (基金)</li> <li>・ 医療専門職の職能団体 (OT、ST、SW) が会員を専門研修等に派遣、伝達研修等を開催する経費を助成 (9 0 0 千円)</li> </ul>
特徴および課題など	<p>〔特徴〕 家族会が個別支援、支援拠点が医療的相談・困難事例等の対応を連携して実施。</p> <p>〔課題〕</p> <p>① 拠点機能、ネットワーク整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支援拠点が西部圏域にあるため、東部・中部圏域における支援体制の構築が必要。</li> <li>・ 特化したサービスがないため、既存資源利用のためのスキルアップや整備が必要。</li> </ul> <p>② 人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一般的な普及啓発研修の充実及び支援関係者の資質向上が必要。</li> </ul> <p>③ 医療と福祉の連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療と福祉の連携を促すツール (社会資源や利用可能な制度等を紹介するパンフレット等) が必要。</li> <li>・ 圏域ごとの医療、福祉、家族会等の支援ネットワークの構築が必要。</li> </ul>

## 広島県

支援拠点機関 (電話番号)	広島県立障害者リハセンター高次脳機能センター 電話番号：0 8 2 - 4 2 5 - 1 4 5 5
支援 Cd (職種)	3 名 (社会福祉士 2 名、臨床心理士 1 名)
相談者数 (12 月末)	支援拠点相談対応延べ件数 1873 件 うち、新規相談者延べ件数 214 件 (当事者・家族 107 件) (関係機関 107 件) (重複 11 件)
その他の活動実績 (12 月末)	院内家族勉強会 (月 2 度開催 延べ 1 9 7 名) 県内高次脳機能障害研究会 (月 1 回開催 延べ 約 200 名)
特徴および課題など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 拠点施設機能の整備 (診断～地域支援、就労支援まで) は順調、5 年後を目処に高次脳機能障害者入院可能枠を現在の 20 床から 40 床に拡大予定。</li> <li>・ 障害者自立支援協議会への参画</li> <li>・ 脳卒中地域連携パスへの参画</li> </ul> <p>〔課題〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小児高次脳機能障害者の支援</li> <li>・ 地域ネットワークの各施設における支援技術の向上</li> <li>・ 地域生活の場の開拓</li> <li>・ 就労支援との連携</li> </ul>

## 山口県

支援拠点機関 (電話番号)	山口県身体障害者福祉センター 電話番号：0 8 3 - 9 2 5 - 2 3 4 5
支援 Cd (職種)	3 名 (社会福祉士、作業療法士、臨床心理士) *いずれも兼務
相談者数 (12 月末)	当事者/家族 3 8 2 件 電話 2 0 7 件



	来院／来所 175件 関係機関等 374件 電話 260件 来院／来所 114件
その他の活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高次脳機能外来（県立こころの医療センター）：2/月</li> <li>・ やまぐちリハビリの会（家族支援、当事者支援）：1/2ヶ月</li> <li>・ 病院、機関等訪問による事業説明、他機関研修等での説明：17回、参加者615名（22年2月まで）</li> <li>・ 高次脳機能障害支援体制資源調査の実施。（回答数412件）</li> <li>・ 高次脳機能障害普及パンフレット作成</li> </ul>
特徴および課題など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域で支援に携わる関係機関、人材の養成・掘り起こし</li> <li>・ 地域支援体制のネットワーク整備</li> <li>・ 行政、保健、医療、福祉、相談支援事業、就労機関、教育等の連携による支援の繋がり</li> <li>・ （圏域、市町レベルの動機付け）</li> <li>・ 社会資源、当事者家族の実態把握（調査、分析）</li> </ul>

#### 4 研修会・講演会の開催状況（講師派遣も含む）

##### 【岡山県】

開催日	研修会・講演会の名称 主催者	対象者 参加人数	プログラム内容 講師
H22.1.26	高次脳機能障害支援研修会	保健師、医療、行政他27名	高次脳機能障害の特性について 岡山県における取り組みについて 高次脳機能障害者の支援について 川崎医療福祉大学 種村 純、川崎医科大学附属病院コディネータ八木真美、旭川荘支援コディネータ後藤祐之
H21.12.20	岡山リハビリテーション講習会	医療、福祉、職業、当事者、家族他 219名	高次脳機能障害における社会的行動障害の理解と対策 昭和大学 三村将、京都大学大学院 村井俊哉
H21.10.3	川崎医療福祉大学校公開講座	医療、福祉、職業、当事者、家族、一般他327名	岡山県における高次脳機能障害支援普及事業の到達点 旭川荘支援コディネータ 後藤祐之、川崎医療福祉大学 水子学 介護老人ホーム白梅の丘 池田恵子
H22.2.7	岡山県社会福祉士協会	社会福祉士	高次脳機能障害について 川崎医科大学 椿原彰夫
H22.1.16	水の都脳神経外科病院勉強会	医療職	遂行機能障害について 川崎医大附属病院 用稲丈人
H21.5.2	水の都脳神経外科病院	医療職	高次脳機能障害（各論）社会的行動障害のみかた 川崎医科大学 平岡崇
H21.9.8	真庭保健所	当事者、家族、行政 他17名	家族支援 川崎医療福祉大学 竹中麻由美
	第11回産業医科大学リハビリテーション医療研究会	医療職	川崎医療福祉大学 種村 純
	平成21年度奈良県言語聴覚士会記念講演	言語聴覚士	川崎医療福祉大学 種村 純

	会		
	山口県言語聴覚士会 研修会 岡山ふれあい公社 ガイドヘルパー養成 講座2回		川崎医療福祉大学 種村 純
	第9回岐阜県言語聴 覚士会研修会	言語聴覚士	川崎医療福祉大学 種村 純
	日本言語聴覚士協会 認定言語聴覚士講習 会(失語・高次脳機能 障害領域)	言語聴覚士	川崎医療福祉大学 種村 純
	日本高次脳機能障害 学会教育研修セミナ ー	医療職	川崎医療福祉大学 種村 純
	九州言語聴覚士会合 同学会	言語聴覚士	川崎医療福祉大学 種村 純
	高次脳機能障害グル ープホーム草木舎開 設記念講演会	当事者、家族、 医療職他	川崎医療福祉大学 種村 純
	心身障害作業所・工房 かたつむり総会	当事者、家族、 医療職他	川崎医療福祉大学 種村 純
	静岡県看護協会認定 看護師養成講座	医療職	川崎医療福祉大学 種村 純
	職業・災害医学会シン ポジウム		川崎医療福祉大学 種村 純
平成 21 年度	高次脳機能障害者の 職業訓練に関する実 践研究会	職業訓練指導 員	川崎医科大学 平岡 崇 旭川荘 後藤祐之
H21.8.2 2	旭川荘療育アカデミ ー(基礎課程)	教育・福祉関係 者	旭川荘 後藤祐之
H21.1.1 6	旭川荘療育アカデミ ー(専門課程)	教育・福祉関係 者	旭川荘 後藤祐之
H22.1.2 3	鳥取県高次脳機能障 害支援連携強化事業 研修会	医療・福祉関係 者	旭川荘 後藤祐之
H21.1.2 4	徳島県高次脳機能障 害支援講演会	医療・福祉関係 者	旭川荘 後藤祐之
H22.1.2 7	大阪府立大学総合リ ハセミナー	医療系学部学 生・医療関係者	旭川荘 後藤祐之
H22.2.2 1	兵庫県高次脳機能障 害ケア研修会	福祉関係者	旭川荘 後藤祐之
H22.3	岡山市ケアマネ協会 研修会	ケアマネジ ャー	旭川荘 後藤祐之 川崎医科大学附属病院 八木真美
H21.11.9	岡山県高次脳機能障 害者	就労支援・支援 コーディネー ター	岡山県高次脳機能障害支援普及事業報告、就労支 援について他 川崎医科大学附属病院 八木真美

【島根県】

開催日	研修会・講演会の名称 主催者	対象者 参加人数	プログラム内容 講師
H21.5.25	高次脳機能障害者雲南圏域研修会（雲南市社会福祉協議会）	訪問介護職員 22名	「高次脳機能障害者への支援」 心と体の相談センター支援コーディネーター 土江啓悦
H21.6.22	第1回 地域包括支援センター公開講座（松江市社会福祉協議会）	介護保険事業所職員 80名	「高次脳機能障害の理解と支援Ⅰ」 心と体の相談センター支援コーディネーター 土江啓悦
H21.7.8	認知症介護サービス事業等職員研修（浜田）（島根県介護研修センター）	ケアマネージャー等 26名	「生活障害としての高次脳機能障害」 心と体の相談センター支援コーディネーター 土江啓悦
H21.7.9	認知症介護サービス事業等職員研修（浜田）（島根県介護研修センター）	ケアマネージャー等 26名	「高次脳機能障害者の家族支援」 心と体の相談センター支援コーディネーター 土江啓悦 「高次脳機能障害者への支援方法」 エスポアール出雲クリニックデイケアきらり 管理者 新藤優子
H21.7.18	しまね高次脳機能障害リハビリテーション講習会（しまね高次脳リハ講習会実行委員会）	医療・保健・福祉・行政等支援関係者、当事者・家族 230名	「生活を支える高次脳機能障害のリハビリテーション」 国立成育医療センターリハビリテーション科 橋本圭司医長
H21.7.27	第2回 地域包括支援センター公開講座（松江市社会福祉協議会）	介護保険事業所職員 75名	「高次脳機能障害の理解と支援Ⅱ」 心と体の相談センター支援コーディネーター 土江啓悦
H21.8.5	認知症介護サービス事業等職員研修（松江）（島根県介護研修センター）	ケアマネージャー等 28名	「生活障害としての高次脳機能障害」 心と体の相談センター支援コーディネーター 土江啓悦
H21.8.6	認知症介護サービス事業等職員研修（松江）（島根県介護研修センター）	ケアマネージャー等 28名	「高次脳機能障害者の家族支援」 心と体の相談センター支援コーディネーター 土江啓悦 「高次脳機能障害者への支援方法」 エスポアール出雲クリニックデイケアきらり 管理者 新藤優子
H21.9.18	中国・四国地区身体障害者更生指導所職員研修会（島根県社会福祉事業団）	身体障害者更生指導所・所長・職員 17名	「島根県における高次脳機能障害者への支援について」 心と体の相談センター支援コーディネーター 土江啓悦
H21.10.1	認知症介護サービス事業等職員研修（浜田）（島根県介護研修センター）	ケアマネージャー等 18名	「事例検討」 心と体の相談センター支援コーディネーター 土江啓悦
H21.10.11	島根県高次脳機能障害者支援研修会（島根県）	医療・保健・福祉・行政等支援関係者、当事者・家族 140名	「脳損傷による高次脳機能障害の対応ー親として精神科医としてー」 なやクニック 納谷敦夫医師
H21.10.28	隠岐地域（島前）研修会（島根県、社会福祉法	医療・保健・福祉・行政等支援関係者、当事者・家	「高次脳機能障害について」 エスポアール出雲クリニック院長 高橋幸男 「高次脳機能障害デイケア「きらり」の紹介」

	人わかば)	族 35名	エスポアール出雲クリニックデイケアきらり 管理者 新藤優子 心と体の相談センター支援コーディネーター 土江啓悦
H21.11.1 1	認知症介護サービス 事業等職員研修(松江) (島根県介護研修 センター)	ケアマネージャ ー等 27名	「事例検討」 心と体の相談センター支援コーディネーター 土江啓悦
H21 11.12	「介護総合実践科」研 修会(介護労働安定セ ンター)	訪問看護職員 30名	「高次脳機能障害者の心理と支援について」 心と体の相談センター支援コーディネーター 土江啓悦
H21.12. 10	高次脳機能障害者大 田圏域研修会 (島根県・社会福祉法 人亀の子)	医療・保健・福 祉・行政等支援関 係者、当事者・家 族 45名	「高次脳機能障害について」 心と体の相談センター支援コーディネーター 土江啓悦
H22.1.1 2	「介護総合実践科」研 修会(介護労働安定セ ンター)	訪問看護職員 23名	「高次脳機能障害者の心理と支援について」 心と体の相談センター支援コーディネーター 土江啓悦
H22.1.2 3	しまね高次脳機能障 害リハビリテーショ ン講習会 (しまね高次脳リハ 講習会実行委員会)	医療・保健・福 祉・行政等支援関 係者、当事者・家 族 147名	「中山間地域における高次脳機能障害の現状と 問題点」 静岡英和学院大学 人間社会学部 白山康彦准 教授
H22.1.2 3	鳥取県高次脳機能障 害支援連携強化事業 研修会(鳥取県医療社 会事業協会)	医療・福祉関係 者	益田市障害者福祉センターあゆみの里 相談支援専門員 大畑史絵
H22.3.2 4	隠岐地域研修会 (島根県、隠岐の島町 自立支援協議会)	医療・保健・福 祉・行政等支援関 係者、当事者・家 族	「高次脳機能障害について」 エスポアール出雲クリニック院長 高橋幸男 「高次脳機能障害デイケア「きらり」の紹介」 エスポアール出雲クリニックデイケアきらり 管理者 新藤優子 心と体の相談センター支援コーディネーター 土江啓悦

### 【鳥取県】

開催日	研修会・講演会の名 称 主催者	対象者 参加人数	プログラム内容 講師
H21. 10. 4	高次脳機能障害普及 啓発講演会 (鳥取県作業療法士 会)	医療・保健・福 祉・行政等支援 関係者、当事 者・家族・一般 県民 350名	講演「壊れた脳 生存する知」 山田規畝子氏
H21. 10. 24	第1回高次脳機能障 害支援研修会 (高次脳機能障がい 者支援拠点機関)	医療・保健・福 祉・行政等支援 関係者、当事 者・家族 70名	報告「高次脳機能障害支援事業報告」 鳥取大学医学部附属病院 川上CD、三村事務 講演「高次脳機能障害者のセルフケアの再構築 を促す看護介入の試案」 聖マリア学院大学看護学部看護学科 日高艶子 准教授

H21. 11. 23	鳥取リハビリテーション講習会 (鳥取県高次脳機能障害者家族会)	医療・保健・福祉・行政等支援関係者、当事者・家族 170名	講演 「高次脳機能障害の精神症状の多様性」 鳥取大学医学部附属病院 中込和幸教授 「高次脳機能障害の理解、回復する脳」 首都大学東京 渡邊修教授 「車いすスポーツと社会参加」 内田精一氏 「社会参加を目標とした脊髄損傷のリハビリテーション」 吉備高原医療リハビリテーションセンター 徳弘昭博院長
H21. 11. 25	精神保健福祉等相談担当者研修会	市町村福祉担当課、障害者相談支援事業所、地域包括支援センター等の職員 80名	講演「発達障害について」 「引きこもりについて」 「自殺対策について」 「高次脳機能障害について」 鳥取県立精神保健福祉センター 原田豊所長
H22. 1. 23	鳥取県高次脳機能障害相談支援専門研修会 (鳥取県医療社会事業協会)	医療・保健・福祉・行政等支援関係者 80名	事業報告「高次脳機能障害がい支援普及事業について」 鳥取県福祉保健部障害福祉課 橋本大助係長 講演 「医療から生活への流れをつくる高次脳機能障害者支援」 (福) 旭川荘 後藤祐之高次脳機能障害支援室長 「圏域拠点における高次脳機能障害者の相談支援について」 益田市障害者福祉センターあゆみの里 大畑史絵相談支援専門員 事例発表「高次脳機能障害者支援の連携における現状と課題について考える」 事例①錦海リハビリテーション病院 善波吉人氏 事例②ウェルフェア北園渡辺病院 中瀬香里氏 意見交換・グループ発表
H21. 1. 24	高次脳機能障害講演会～症例検討会～ (鳥取県言語聴覚士会)	医療・保健等支援関係者 130名	講演(症例検討) 中谷病院 柏木敏宏言語聴覚士 (日本高次脳機能障害学会 理事)
H22. 2. 27	第2回高次脳機能障害支援研修会 (高次脳機能障害がい者支援拠点機関)	医療・保健・福祉・行政等支援関係者、当事者・家族 150名	講演 「急性期病院における高次脳機能障害がい患者さんに対する早期介入の試み」 鳥取大学医学部附属病院 佐々木由佳副看護師長 「当院における現状と問題点」 野島病院リハビリテーション科 濱田匡一言語聴覚士 「高次脳機能障害がい外来の現状と今後の課題」 鳥取医療センター 下田光太郎院長 「社会的行動障害に対する介入」 大山リハビリテーション病院 佐野積作業療法士 「社会的行動障害がある人の人間関係の難し

			さ」 鳥取県高次脳機能障害者家族会 森田多賀枝会長 「厚和寮における高次脳機能障がい者の就労支援について」 障害者福祉センター厚和寮 奥田祐子支援員 シンポジウム・意見交換
--	--	--	--

【広島県】

開催日	研修会・講演会の名称 (主催)	対象者 参加人数	プログラム内容 講師
H21.6.17	平成21年度発達障害学習会	教育関係者 100名	高次脳機能障害について 広島県高次脳機能センター センター長 丸石正治
H21.7.14	高次脳デイケア家族の集い	パレアモアデイケア家族 10名	「知っておくと役立つ制度・社会資源」 広島県高次脳機能センター コーディネーター 隅原聖子
H21.8.7	小規模多機能ホームひだまり	30名 介護支援専門員、保健師、看護師	「高次脳機能障害とは」 作業療法士 福田奈津子
H21.8.23	日本作業療法士協会 事業部主催研修会	40名 作業療法士	「高次脳機能障害者への就労支援」 作業療法士 川原薫
H21.9.5	第26回北陸リハビリテーション医学会生涯教育研修会	100名 医師、リハビリ訓練士	「高次脳機能障害の病態と機能画像：社会的行動障害に焦点を当てながら」 広島県高次脳機能センター センター長 丸石正治
H21.10.9	老人保健施設デイケアひばり 施設内研修会	60名 施設スタッフ	「高次脳機能障害の理解と介護」 作業療法士 川原薫
H21.10.15	企業内ジョブサポーター養成研修	障害者を雇用する事業所職員 23名	「身体・高次脳機能障害の特性理解と対応方法」 広島県高次脳機能センター コーディネーター 高上清人
H21.10.26	企業内ジョブサポーター養成研修	障害者を雇用する事業所職員 23名	「身体・高次脳機能障害の特性理解と対応方法」 広島県高次脳機能センター コーディネーター 高上清人
H21.11.11	広島県サービス管理責任者研修	サービス管理責任者 250名	「サービス管理責任者と関係機関との連携」 広島県高次脳機能センター コーディネーター 隅原聖子
H21.1.23	群馬県地域リハビリテーション研究会	医療関係者 100名	エビデンスに基づいた高次脳機能障害へのアプローチ 広島県高次脳機能センター センター長 丸石正治
H22.1.27	広島県障害者相談支援従事者現任研修	相談支援従事者 30名	「地域生活支援事業における取り組み～高次脳機能障害者の場合～」 広島県高次脳機能センター コーディネーター 隅原聖子
H22.2.7	平成21年度高次脳機能障害研修会	当事者、家族、専門機関の方等 233名	「高次脳機能障害と家族のケア」 首都大学東京 大学院 教授 渡邊修氏 「広島県における高次脳機能障害対策」 広島県健康福祉局保健医療部健康対策課 主査

			山本哲郎氏 「小児高次脳機能障害支援に関する留意点と課題～千葉県での実践を通して～」 千葉県千葉リハビリテーションセンター 地域連携部長 太田令子氏
H22.2.8	年賀寄付金配分事業助成 障害者児者に対する指導員養成事業（社会福祉法人かしの木）	生活指導員 25名	「高次脳機能障害について」 広島県高次脳機能センター 臨床心理士 澤田梢 障害者支援施設あけぼの 作業療法士 佐々木典子
H21.2.21	福井県高次脳機能障害セミナー	医療関係者	高次脳機能障害の病態とリハビリテーション～特に社会的行動障害の機能画像について 広島県高次脳機能センター センター長 丸石正治
H22.2.26	地域ケア関係機関連絡会議	市，市社会福祉協議会，保健所，特別支援学校，医療機関，障害者関係施設等	「高次脳機能障害とは」 広島県高次脳機能センター 臨床心理士 澤田梢 「リハビリテーション，本人への関わりについて」 機能回復訓練部 作業療法士 室田由佳 「福祉制度について」 広島県高次脳機能センター コーディネーター 隅原聖子 「高次脳機能センターでの障害者への支援の一例」 広島県高次脳機能センター コーディネーター 隅原聖子 臨床心理士 澤田梢 機能回復訓練部 作業療法士 室田由佳
H21.3.3	愛媛県高次脳機能障害支援研究会	当事者，家族，医療関係者	広島県における高次脳機能障害者への支援～就労と社会的行動障害に着目して～ 広島県高次脳機能センター センター長 丸石正治
H22.3.11	呉市東部居宅連絡会議	介護支援専門員	「高次脳機能センターの紹介，および高次脳機能障害の理解のために」 広島県高次脳機能センター コーディネーター 隅原聖子

### 【山口県】

開催日	研修会・講演会の名称 主催者	対象者 参加人数	プログラム内容 講師
H21.10.16	山口県作業療法士会 周南地区勉強会 （山口県身体障害者福祉センター・山口県作業療法士会）	作業療法士 50名	『高次脳機能障害者の支援について』 県身体障害者福祉センター 作業療法士 石原弥生
H21.11.15	山口県作業療法士会 山口地区勉強会 （山口県身体障害者福祉センター・山口県作業療法士会）	作業療法士 15名	『高次脳機能障害者の支援について』 県身体障害者福祉センター 作業療法士 石原弥生
H21.11.21	山口県リハビリテー	当事者・家族、	『生活を支える高次脳機能リハビリテーション』

	シヨシヨシ講習会 (山口県リハビリテーション講習会実行委員会)	保険・医療・福祉関係機関職員、行政職員等 400名	国立成育医療センター リハビリテーション科 医長 橋本圭司 氏
H22.1.20	山口県作業療法士会 下関地区勉強会 (山口県身体障害者福祉センター・山口県作業療法士会)	作業療法士 60名	『高次脳機能障害者の支援について』 県身体障害者福祉センター 作業療法士 石原弥生
H22.3.10	平成21年度就業・生活支援センター「蓮華」業務運営連絡協議会 (障害者就業・生活支援センター蓮華)	福祉施設職員、就労支援機関職員、企業関係者等 50名	『高次脳機能障害者支援について』 県身体障害者福祉センター 主事 永富徹志

#### D. 考察

中国ブロックは支援拠点の活動を中心として各県での高次脳機能障害支援が実施されている。しかしながら、各県の状況は、拠点機能を充実させることに主眼を置いている県と、さらに県内ネットワークの充実を目指している県まで、進捗状況はさまざまである。共通した課題として、医療から福祉への連携、特に地域生活での社会資源の活用など、地域で検討すべき問題が掲げられている。

#### E. 結論

引き続き、支援普及のためのブロック単位での活動を実施するとともに、国立障害者リハビリテーションセンターならびに厚生労働省との連絡協議を通じた課題の整理が必要である。

#### F. 研究発表

##### 1. 論文発表

- ・丸石正治：社会的行動障害の診断と評価. *Clinical rehabilitation* 18:1072-1079, 2009.

##### 2. 学会発表

- ・Masaharu Maruishi, Takashi Nakao, Makoto Miyatani: Impaired self-awareness in diffuse axonal injury; a functional magnetic resonance imaging study. The 2<sup>nd</sup> International Congress of Asia Oceania Neurotrauma Society.(Tokyo)
- ・丸石正治, 近藤啓太, 澤田梢, 橋本優花里, 吉田弘司：外傷性脳損傷における表情認知の検討—preliminary study. 第32回日本神経外傷学会（下関市）
- ・丸石正治, 近藤啓太, 澤田梢, 橋本優花里, 吉田弘司：外傷性脳損傷における表情認知について. 第46回日本リハビリテーション医学会学術総会（静岡市）
- ・丸石正治, 近藤啓太, 澤田梢, 橋本優花里, 吉田弘司：外傷性脳損傷における表情認知について—予備的研究. 第20回日本高次脳機能障害学会（札幌市）
- ・丸石正治：高次脳機能障害の病態と機能画像：社会的行動障害に焦点を当てながら第26回北陸リハビリテーション医学会生涯教育研修会（金沢市）

#### G. 知的財産権の出願・登録

特になし



厚生労働科学研究費補助金（地域生活支援の推進に関する研究事業）

（分担）平成 21 年度研究報告書

### 高次脳機能障害者の地域生活支援の推進に関する研究

研究分担者 蜂須賀 研二 産業医科大学リハビリテーション医学講座・教授

研究要旨：①九州各県に高次脳機能障害支援ネットワークを確立させ、高次脳機能障害者の地域生活支援を推進させるため、九州各県から 12 名の九州ブロック委員を選任し、行政担当者と合同でブロック会議を開催した。ブロック会議では、ブロック委員、支援コーディネイター、行政担当者などが参加して、各県における研修会実施、地域生活支援体制や支援実施状況等を報告し討論した。九州地区では 13 箇所の支援拠点機関が設置され、支援コーディネイターは（一部、医師や担当者を含む）19 名が配置され、相談件数は電話 2,381 件、来所 1,270 件、メール・書簡 155 件、その他 158 件であり、合計すると 3,964 件であった。また、研修会は 53 回開催され、延べ 2,764 人が参加した。②産業医科大学では高次脳機能障害者の地域生活支援の一環として、高次脳機能障害の神経心理学的検査の標準値設定、自動車運転適性評価、注意障害改善のための塩酸ミルナシプラン投与と事象関連電位測定、社会復帰準備のためのリハビリテーション学級を開催した。

#### A. 研究目的

九州各県内で高次脳機能障害者に対する地域生活支援を推進させ、また、産業医科大学では高次脳機能障害者の地域生活支援のために、高次脳機能障害判定のための神経心理学的検査の標準値設定、自動車運転適性評価、注意障害改善のための塩酸ミルナシプラン投与と事象関連電位測定、社会復帰準備のためのリハビリテーション（以下リハ）学級の研究事業を行う。

#### B. 研究方法

九州各県を代表する医療関係者にブロック委員を依頼し、ブロック委員は行政担当者、支援コーディネイターと協力して地域生活支援体制の構築と支援推進を行い、ブロック委員、行政担当者、支援コーディネイターが合同で九州ブロック会議を開催する。九州ブロック会議ではそれぞれの県における高次脳機能障害地域支援体制や実施状況に関する情報を交換し、相互に進捗状況や実施状況を確認し、支援体制構築と推

進に役立てる。

青年における簡易な神経心理検査の標準値に関する研究では、日常診療で頻繁に用いられるが外傷性脳損傷者の標準値が設定されていないWisconsin Card Sorting Test、三宅式記銘力検査、Trail Making Test、Modified Stroop Test に関して健常青年に検査を実施する。

高次脳機能障害者の自動車運転適性評価は、ノートパソコンを用いた簡易な自動車運転適性評価システムを用いて、健常者 202 名を対象として標準値と標準域を定め、外傷性脳損傷患者 17 名の判定を行う。

外傷性脳損傷による高次脳機能障害の注意障害の特徴を明らかにし、塩酸ミルナシプラン投与により注意障害が改善するか否かを明らかにするために、外傷性脳損傷 14 名に 2 重盲検比較試験を実施する。

社会復帰準備のためのリハ学級は、医療リハが終了しても社会復帰が困難なことが多く、社会復帰準備として集団で社会技能の訓練を行う。本年度は 2 学期、合計 20 回リハ学級を開催して、外傷性脳損傷者 7 名に対して実施する。

## C. 研究結果

### 1. 九州ブロックの研究結果

#### 1) 九州ブロック会議

厚生労働省「高次脳機能障害者の地域生活支援」研究班の趣旨に従い、昨年を引き続き各県 1 名（佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県）、高次脳機能障害のリハを実践している代表的立場の医師にブロック委員を依頼した。なお、福岡県は高次脳機能障害支援モデル事業に

参加した拠点機関の 3 名をブロック委員、1 名をオブザーバーとし、さらに事務局委員を 2 名とした。全体としてブロック委員は 12 名となった。

福岡県：

・北九州市 産業医科大学リハ医学講座・教授 蜂須賀研二

・福岡市 福岡市立心身障がい福祉センター・課長 永吉美砂子

・筑後地区 久留米大学脳神経外科・教授 重森稔

・福岡県域 福岡県身体障害者リハセンター・次長 中西思郷（オブザーバー）

佐賀県：佐賀大学・教授 浅見豊子

長崎県：長崎大学・教授 松坂誠應

熊本県：熊本大学精神科・助教 橋本 衛

大分県：諏訪の杜病院・院長 武居光雄

宮崎県：宮崎大学・教授 帖佐悦男

鹿児島県：鹿児島大学大学院・教授 浜田博文

沖縄県：ちゅうざん病院・院長 今村義典

事務局委員：産業医科大学リハ医学・講師

岡崎哲也、産業医科大学病院・高次脳機能障害支援コーディネーター 甲斐明子

事務局：産業医科大学リハ医学講 807-0805

北九州市八幡西区医生ヶ丘 1-1

Tel 093-691-7266

平成 21 年度厚労省科研費研究班九州ブロック会議・高次脳機能障害支援担当者会議

日程：平成 21 年 7 月 17 日 吉塚合同庁舎

参加者 46 名

(1) 「高次脳機能障害支援普及事業の現況」

国立リハセンター・学院長

中島八十一

(2) 「福岡県高次脳機能障害実数調査」

産業医科大学リハ医学・教授

蜂須賀研二

(3) 「各県の取り組み状況」

福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、熊本県、鹿児島県、宮崎県、沖縄県の支援コーディネイターが各県における研修会の開催、地域生活支援体制、支援実施状況等に関して報告した。全ての県に支援拠点機関が開設され、支援コーディネイターが配置され、支援体制は整いつつあった。今後は支援内容や提供できるサービスの質を検討する必要がある。

2) 九州地区の活動の概要

本年度で九州全県に少なくとも1カ所以上の高次脳機能障害支援拠点機関が設置され合計13カ所となった。高次脳機能障害支援コーディネイターは各機関に1名以上配属され、医師や担当者も含めると合計19名であった。

相談件数は電話2,381件、来所1,270件、メール・書簡155件、その他158件の合計3,964件である。また、研修会等は53回開催され、述べ2,764人が参加した。

各県の高次脳機能障害支援拠点機関と支援コーディネイター(含む担当医、担当者)を下記に示す。

福岡県

・福岡県身体障害者リハセンター

〒811-3113 古賀市千鳥3-1-1

Tel 092-944-1041

太田 保 (社会福祉士)

奥宮 千鶴 (社会福祉士)

・産業医科大学病院

〒807-8555 北九州市八幡西区

医師ヶ丘1-1

TEL 093-603-1611

甲斐明子 (臨床心理士)

・久留米大学病院 脳神経外科

〒830-0011 福岡県久留米市旭町67

TEL 0942-35-3311 (代表)

弥吉 江理奈 (精神保健福祉士)

・福岡市立心身障がい福祉センター (あいあいセンター)

福岡市中央区長浜1-2-8

TEL 092-721-1611

和田 明美 (理学療法士)

佐賀県

佐賀大学医学部附属病院

〒849-8501 佐賀市鍋島5-1-1

TEL 0952-31-6511 (代表)

浅見豊子 (医師)

長崎県

・長崎こども・女性・障害者支援センター  
障害者支援部 更生相談課 地域支援班

〒852-8114 長崎市橋口町10-22

Tel 095-844-5515

小無田秀幸 (ソーシャルワーカー)

熊本県

・熊本大学医学部附属病院神経精神科

熊本県高次脳機能障害者支援センター

熊本市本荘1-1-1

専門ホットライン 096-272-5784

谷所 敦史 (精神保健福祉士)

大分県

・社会福祉法人 農協共済別府リハセンター

〒874-0840 大分県別府市大字鶴見字中

山田1026 番地の10

TEL 0977-67-1711 (代)

出口直子 (臨床心理士)

・医療法人 光心会 諏訪の杜病院

〒870-0945 大分県大分市津守888-6

TEL 097-567-1277 (代)

浅倉恵子 (作業療法士、

代行：北村友紀)

#### 宮崎県

・宮崎県身体障害者支援センター

〒889-1601 宮崎県宮崎郡清武町大字木原 5710-2

TEL 0985-85-3388 (代表)

満尾昭彦・落合恭芳 (一般行政職)

#### 鹿児島県

・鹿児島県精神保健福祉センター

〒890-0065 鹿児島市郡元 3-5

Tel 099-255-0617

加藤アヤ子

#### 沖縄県

・沖縄リハビリテーションセンター病院

高次能ダイケア

沖縄県沖縄市比屋根2-15-1

渡邊健一、池間敬彦

・医療法人へいあん 平安病院 総合相談室

(医療相談係・心理療法係)

〒901-2553 沖縄県浦添市経塚346 番地

TEL 098-877-6467 (内線 230・237)

波平 智雄 (医師)

赤嶺 洋司 (臨床心理士)

新垣 香織 (精神保健福祉士)

伊井 統章 (精神保健福祉士)

### 3) 各県の活動成果の報告

各拠点機関では各地の状況に応じて、活発な活動が行われた。

#### 福岡県

【支援拠点機関名】

久留米大学病院

【支援コーディネーター】

弥吉江理奈 (精神保健福祉士)

【当事者／家族からの直接相談のべ件数】

合計 326 件

電話 157 件

来院／来所 169 件

メール・書簡 0 件

その他 (訪問・出張・同行等) 0 件

【機関・施設等からの間接相談のべ件数】

合計 107 件

電話 88 件

来院／来所 16 件

メール・書簡 3 件

その他 (訪問・出張・同行等) 0 件

【協力・出席した会合】

- ① 高次脳機能障害支援実践セミナー (行政関係者編) 平成21年11月13日(金)
- ② 高次脳機能障害講演会 平成21年12月20日(日)
- ③ 高次脳機能障害支援実践セミナー (医療・福祉等従事者編) 平成21年12月22日(火)
- ④ 高次脳機能障害支援事業関係職員研修会 平成21年7月1日(水)～7月3日(金)
- ⑤ 支援拠点機関等全国連絡協議会 平成21年7月1日(水) / 平成22年2月26日(金)
- ⑥ 支援コーディネーター全国会議 平成21年10月16日(金) / 平成22年2月25日(木)
- ⑦ 厚労科研費研究班九州ブロック会議・高次脳機能障害支援担当者会議 平成21